

履修コード/科目名称	194601 / 健康・スポーツ実習 (ダブルダッチ)		
開講年度	2015年	開講曜日・時限	月・2
担当教員氏名 (カナ)	末次 美樹(スエツグ ミキ)		
副担当教員氏名 (カナ)	内山 雅博(ウチヤマ マサヒロ) 江口 淳一(エグチ ジュンイチ) 大森 西三郎(オオモリ ユウザブロウ) 下谷内 勝利(シモヤチ カツトシ) 鈴木 淳平(スズキ ジュンペイ) 原田 沙織(ハラダ サオリ) 柳 浩二郎(ヤナギ コウジロウ) 渡辺 一郎(ワタナベ イチロウ)		

履修コード/科目名称	194601 / 健康・スポーツ実習 (ダブルダッチ)		
開講年度	2015年	開講曜日・時限	月・2
担当教員氏名 (カナ)	末次 美樹 (スエツグ ミキ)		

授業概要	ターナーとジャンパーに分かれ、ダブルダッチのいろいろな技に挑戦する。1本の長縄から飛ぶ基本的なことから始め、最後はダブルアンダー(二重跳び)に挑戦してもらおう。		
到達目標 (ねらい)	ダブルダッチとは、2本の長縄を使って行う、縄跳び運動である。誰もが手軽にでき、集中力・リズム感・バランス感覚が身につく、また、動きを自分達で工夫する事で想像力やチームワークも身につく、優れた運動である。ダブルダッチを体得することにより、現在および将来の体力・健康の保持増進を目的とする。		
授業スケジュール	第1回	オリエンテーション	
	第2回	ターナーの練習・ジャンプの練習	
	第3回	短縄を使って練習・縄一本での練習	
	第4回	ペアでリズム・バランス感覚の確認	
	第5回	ターナーの練習、奇数と偶数の違い	
	第6回	5回跳び・10回跳び	
	第7回	ターナーの回転・スピード	
	第8回	ビデオ学習	
	第9回	連続跳び	
	第10回	応用	
	第11回	応用	
	第12回	応用	
	第13回	応用	
	第14回	応用	
	第15回	応用	
準備学習	特になし		
履修上の留意点	服装: 上下とも動きやすいものが良い。シューズ(室内専用)を用意する。		
成績評価の方法	70%	平常点	
	30%	総合評価(授業への参加意欲、授業態度など)	
教科書/テキスト			
参考書			
その他			
関連リンク			

履修コード/科目名称	194601 / 健康・スポーツ実習 (ジョギング)		
開講年度	2015年	開講曜日・時限	月・2
担当教員氏名 (カナ)	内山 雅博 (ウチヤマ マサヒロ)		
授業概要	自らの健康は自身の手で守り育てる。社会はその営みを支援するというヘルスプロモーションの概念が提案され久しい。 この授業では、健康に至るための理論や知識を学ぶと同時に、具体的な実施方法の行い方を学ぶこととする。		
到達目標 (ねらい)	健康、体力の維持増進を目的として行なわれる走運動、それがジョギングである。普及し始めて約30年になる比較的新しい運動種目でもある。健康づくりの運動はひとりひとりの体力に応じた望ましい運動処方が必要であり、日常生活において継続的に実施されることが望ましい。そのためには、指導者任せのトレーニングにすることなく、その処方を自分自身の手によって立案し、安全に、計画的に実施することのできる能力を高めることを目的とする。実際の内容については、エクササイズ・ウォーキング(速歩)やドリル・ストレッチングによってジョギングに必要な技術と体力を高め、10分/kmから6分/kmで60分程度のジョギングを安全に実施出来るようにすることとする。		
授業スケジュール	第1回	オリエンテーション・心拍数測定・体重測定	
	第2回	エクササイズ・ウォーキング(速歩1、12分/kmで歩く)・その具体的方法と留意点	
	第3回	エクササイズ・ウォーキング(速歩1、12分/kmで歩く)・その具体的方法と留意点	
	第4回	エクササイズ・ウォーキング(速歩2、10分/kmで歩く)・その具体的方法と留意点	
	第5回	エクササイズ・ウォーキング(速歩2、10分/kmで歩く)・その具体的方法と留意点	
	第6回	エクササイズ・ウォーキングとジョギングの違いとは	
	第7回	ジョギングの実際(10分/kmの歩くスピードで走る)	
	第8回	ジョギングの実際(10分/kmの歩くスピードで走る)	
	第9回	時間走(歩くスピード・10分/kmで60分走る)	
	第10回	距離走(歩くスピード・10分/kmで6km走る)	
	第11回	ジョギング(スピードを変えて走る・そのための走り方)	
	第12回	ジョギング(スピードを変えて走る・そのための走り方)	
	第13回	ジョギング(自由走・各自の体力に合わせてそのスピードを工夫する)	
	第14回	ジョギング(自由走・各自の体力に合わせてそのスピードを工夫する)	
	第15回	まとめ	
準備学習	事前の学習として、日常でのウォーキング(速歩で歩く)を行っておくこと。		
履修上の留意点	実技のできる服装とする。シューズはランニングシューズ、トレーニングシューズが望ましい。 陸上競技用のスパイクシューズはトラック保護の立場から不可とする。 また、事前にメディカルチェック(心電図、負荷心電図、健康診断)を受けることが望ましい。また、十分な体調管理(食事をとること、睡眠時間の充分なこと。給水を怠らないことなど)のもとに受講すること。ジョギングによって相当量の発汗を伴うため、着替えの用意が必要である。		
成績評価の方法	20%	平常点	
	80%	出席	
	出席を重視する。さらに積極性、平常点(授業への参加度)を加味する。		
教科書/テキスト			
参考書			
その他	雨天時は教場にて健康づくりのあり方、運動処方の仕方を学ぶとともに、ストレッチング、歩行・走運動のためのドリル(補助運動・走る、歩くための技術を高めるための運動)、補強運動(筋力等を高める)を実施する。		
関連リンク			

履修コード/科目名称	194601 / 健康スポーツ実習 (テニス)		
開講年度	2015年	開講曜日・時限	月・2
担当教員氏名(カナ)	江口 淳一 (エグチ ジュンイチ)		

授業概要	生涯スポーツとして、定着したテニスの基本的打球技術を習得し、ルールやマナーを学ぶことによって、生涯を通じて安全で楽しくテニスを実践する能力と態度を養う。また、授業を通して得られる様々な経験から、健康で活力のある生活の基礎となる身体運動への理解と、生涯スポーツとしての導入を図る。		
到達目標(ねらい)	グラウンドストローク、ボレー、スマッシュ、サービスなどの基本的打球技術の習得と、ルールやマナーを理解する。また、スポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツの持つ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身につけ自立的にスポーツを生活化する態度を養う。 さらに、共通の体験を通して、大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的人格の形成を目指す。		
授業スケジュール	第1回	オリエンテーション、授業目標の説明	
	第2回	ラケットティング、ボレー、ミニストローク	
	第3回	フォアハンドグラウンドストロークの基本技術	
	第4回	バックハンドグラウンドストロークの基本技術	
	第5回	フォアハンド・バックハンドボレーの基本技術	
	第6回	スマッシュ、サービスの基本技術	
	第7回	ラリーを通しての応用練習	
	第8回	半面でのシングルスゲーム	
	第9回	半面でのシングルスゲーム(リーグ戦)	
	第10回	半面でのシングルスゲーム(トーナメント)	
	第11回	ダブルスのルールと戦術	
	第12回	ダブルスのゲーム(リーグ戦)	
	第13回	ダブルスのゲーム(リーグ戦)	
	第14回	ダブルスのゲーム(トーナメント)	
	第15回	理解度の確認	
準備学習	体育実技なので、フルに動けるよう体調管理に留意すること。 授業内でも説明するが、あらかじめテニスのルールを理解しておくこと。		
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 履修者の技術レベルは問わない。 服装は一般的な運動服装とする。 ラケットは貸与する。 		
成績評価の方法	60%	平常点	
	20%	技術習熟度	
	10%	ルール等の理解	
	10%	体力の維持増進度	
教科書/テキスト			
参考書			
その他	雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的解説、映像による戦術の解説および分析などの講義を行うか、テニスに必要なトレーニングを体育館で行う予定である。		
関連リンク			

履修コード/科目名称	194601 / 健康・スポーツ実習（サッカー）		
開講年度	2015年	開講曜日・時限	月・2
担当教員氏名（カナ）	大森 西三郎 （オオモリ ユウザブロウ）		

授業概要	サッカーを楽しむために必要なボールを扱う基本技術とその技術を発揮するためのこころの技術であるライフスキルを学びながら、ボールを通じたコミュニケーションでの仲間作り、そして、その仲間と楽しみながらサッカーを実施することでの健康作りを目的に実施する。		
到達目標（ねらい）	この講義の到達目標は、サッカーを楽しむための基本技術（ドリブル、ボールコントロール、キック）、基本的なルール、そして戦術的な知識の習得とライフスキル能力の向上である。		
授業スケジュール	第1回	オリエンテーション、授業目標の説明	
	第2回	基本技術トレーニング（インサイドキック、リフティング）、ゲーム	
	第3回	基本技術トレーニング（1 V 1 の攻防での技術・戦術）、ゲーム	
	第4回	基本技術トレーニング（2 V 2 の攻防での技術・戦術）、ゲーム	
	第5回	基本技術トレーニング（3 V 3 の攻防での技術・戦術）、ゲーム	
	第6回	基本技術トレーニング（4 V 4 の攻防での技術・戦術）、ゲーム	
	第7回	基本技術トレーニング（5 V 5 の攻防での技術・戦術）、ゲーム	
	第8回	基本技術トレーニング（ゴールキーパーの基礎）、ゲーム	
	第9回	基本技術トレーニング（8 V 8 の攻防での技術・戦術）、ゲーム	
	第10回	基本技術トレーニング（11 V 11 の攻防での技術・戦術）、ゲーム	
	第11回	リーグ戦1	
	第12回	リーグ戦2	
	第13回	リーグ戦3	
	第14回	リーグ戦4	
	第15回	リーグ戦5	
準備学習	特になし		
履修上の留意点	<p>服装：サッカーができる一般的な運動服装とする。</p> <p>装飾品：アクセサリ ー類や時計は安全確保の為、装着不可とする。</p> <p>シューズ：サッカー用シューズ（トレーニングシューズや固定式スパイク）を用意するのが好ましいが、ない場合は必ず運動用シューズを用意すること（取替え式スパイクは使用不可）。</p>		
成績評価の方法	70%	平常点	
	20%	実技点	
	10%	平常点	
教科書/テキスト	特になし		
参考書	特になし		
その他	特になし		
関連リンク	特になし		

履修コード/科目名称	194601 / 健康・スポーツ実習 (卓球)		
開講年度	2015年	開講曜日・時限	月・2
担当教員氏名 (カナ)	下谷内 勝利 (シモヤチ カツトシ)		

授業概要	卓球の基本技術を学習した後、シングルス、ダブルスの順にゲームを展開する。		
到達目標 (ねらい)	上記の過程で卓球というスポーツへの理解を深めてもらい、生涯スポーツのひとつとしてその基礎を築くことを目標とする。		
授業スケジュール	第1回	オリエンテーション	
	第2回	ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形、簡易ゲーム	
	第3回	フォアハンドドライブ、シングルスリーグ戦	
	第4回	フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方、シングルスリーグ戦	
	第5回	バックハンドショートの打ち方、シングルスリーグ戦	
	第6回	カットの打ち方、返球の方法。カット & カット、シングルスリーグ戦	
	第7回	カット & ドライブリターン、シングルスリーグ戦	
	第8回	スマッシュ (3球目)、シングルスリーグ戦	
	第9回	ダブルスゲームの行い方、ダブルスゲームの練習、ダブルスリーグ戦	
	第10回	ダブルスリーグ戦	
	第11回	ダブルスリーグ戦	
	第12回	ダブルスリーグ戦	
	第13回	ダブルスリーグ戦	
	第14回	ダブルスリーグ戦	
	第15回	まとめ	
準備学習	卓球のルールを必ず予習しておいてほしい。テレビ等で卓球の試合が放送される場合は、観戦してもらいたい。		
履修上の留意点	服装は、一般的なスポーツウェアとするが、必ず体育館シューズを用意すること (土足厳禁)		
成績評価の方法	70%	平常点	
	30%	実技点	
	授業に出席して、積極的に実技に取り組む姿勢が重要である。したがって、平常点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点はシングルのランキングにて判定する。		
教科書/テキスト			
参考書			
その他	グループ毎にリーグ戦を行うため、30分以上の遅刻は認めないものとする。		
関連リンク			

履修コード/科目名称	194601 / 健康・スポーツ実習（トレーニング）		
開講年度	2015年	開講曜日・時限	月・2
担当教員氏名（カナ）	鈴木 淳平（スズキ ジュンペイ）		

授業概要	本講義では、健康と体力の維持・増進に有用であるトレーニングの理論の習得と実践を通じ、身体運動の重要性等を学習する。		
到達目標（ねらい）	健康・体力についての理解を深め、トレーニングの原理原則をと実践方法を習得し、自らの体力の維持・増進に必要なトレーニングプログラムを立案し実践できる能力を習得することを主な目標とする。		
授業スケジュール	第1回	オリエンテーション 種目選択 ガイダンス	
	第2回	体組成測定1・理論1「トレーニングの基礎知識」・実践1「トレーニングマ	
	第3回	基礎体力測定1・理論2「有酸素運動の基礎知識」・実践2「基本プログラム	
	第4回	理論3「各種トレーニングの基礎知識1」・実践3「個別プログラム」	
	第5回	理論4「各種トレーニングの基礎知識2」・実践4「個別プログラム」	
	第6回	体組成測定2・実践5「個別プログラム」	
	第7回	基礎体力測定2・実践6「個別プログラム」	
	第8回	実践7「個別プログラム」	
	第9回	実践8「個別プログラム」	
	第10回	体組成測定3・実践9	
	第11回	基礎体力測定3・実践10「個別プログラム」	
	第12回	実践11「個別プログラム」	
	第13回	実践12「個別プログラム」	
	第14回	体組成測定3・実践13「個別プログラム」	
	第15回	基礎体力測定3・実践14「個別プログラム」・まとめ	
準備学習	特になし		
履修上の留意点	運動に適したスポーツウェアと、凹凸の少ないフラットなソールの清潔な室内用シューズで受講すること。積極的に運動すること。		
成績評価の方法	80%	平常点	
	20%	総合評価	
	授業に出席して実技を実践することが重要である。出席を重視し、運動参加への積極性などを総合的に評価する。出席点は評点の80%とし、遅刻や欠席の減点法で計算する。その他、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加え総合的に評価する。		
教科書/テキスト			
参考書			
その他			
関連リンク			

履修コード/科目名称	194601 / 健康・スポーツ実習(ゴルフ)		
開講年度	2015年	開講曜日・時限	月・2
担当教員氏名(カナ)	原田 沙織 (ハラダ サオリ)		

授業概要	ゴルフは老若男女問わず、幅広い年齢層に好まれるスポーツである。生涯スポーツとして楽しく、安全にラウンドプレーをするための基礎知識や技術、およびマナーを身につける。		
到達目標(ねらい)	この授業の到達目標は、ゴルフ用語を理解し、一連のゴルフスイングを習得して、さらにボールを打てるようにすることである。		
授業スケジュール	第1回	オリエンテーション	
	第2回	ゴルフスイングの基本(アドレス、グリップ、スイング)	
	第3回	打撃練習(ピッチングウェッジ、9アイアン)	
	第4回	打撃練習(ピッチングウェッジ、9アイアン)	
	第5回	打撃練習(ピッチングウェッジ、9アイアン)	
	第6回	打撃練習(9アイアン、7アイアン、1ウッド)	
	第7回	打撃練習(9アイアン、7アイアン、1ウッド)	
	第8回	打撃練習(9アイアン、7アイアン、1ウッド)	
	第9回	打撃練習(アプローチショット)	
	第10回	打撃練習(アプローチショット)	
	第11回	パッティング(ゴルフコース、ゴルフクラブの解説)	
	第12回	パッティング(ゴルフコース、ゴルフクラブの解説)	
	第13回	模擬コースのラウンドプレー(マナー、エチケットの解説)	
	第14回	模擬コースのラウンドプレー(マナー、エチケットの解説)	
	第15回	理解度の確認	
準備学習	特になし		
履修上の留意点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 服装は一般的な運動服装とする。 2. シューズは運動靴とする。 3. ゴルフ用のグローブは各自で用意すること。 		
成績評価の方法	80%	平常点	
	20%	出席	
	平常点80%、総合評価(積極性、協調性、授業態度など)20%とする。授業に出席して実技を实践することが重要である。遅刻、欠席は減点の対象とする。		
教科書/テキスト			
参考書			
その他	雨天および強風時は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。		
関連リンク			

履修コード/科目名称	194601 / 健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン)		
開講年度	2015年	開講曜日・時限	月・2
担当教員氏名 (カナ)	柳 浩二郎 (ヤナギ コウジロウ)		

授業概要	「体操」という種目を広義に捉え、健康体操ならびに器械運動・トランポリンの実技を行う。		
到達目標 (ねらい)	健康体操については、ストレッチ体操を実践し、日々の生活においてできる健康法を理解する。器械運動では、マット・鉄棒・トランポリン等の種目において初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に課題を習得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび(バック転)の習得をめざす。		
授業スケジュール	第1回	オリエンテーション、授業目標の説明	
	第2回	健康体操とストレッチ体操	
	第3回	健康体操とストレッチ体操	
	第4回	ストレッチ体操、マット、トランポリン	
	第5回	ストレッチ体操、マット、トランポリン	
	第6回	ストレッチ体操、マット、トランポリン	
	第7回	男子あん馬、女子平均台、トランポリン	
	第8回	男子あん馬、女子平均台、トランポリン	
	第9回	男子あん馬、女子平均台、トランポリン	
	第10回	鉄棒、トランポリン	
	第11回	発展技の練習、自主練習	
	第12回	発展技の練習、自主練習	
	第13回	発展技の練習、自主練習	
	第14回	発展技の練習、自主練習	
	第15回	まとめと評価	
準備学習	特になし		
履修上の留意点	服装は、一般的なスポーツウェアとする。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川第2体育館1階アリーナの体操場で行う。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、勝手に使用せず、授業における教員の指示に従うこと。		
成績評価の方法	70%	平常点	
	30%	実技	
	男女それぞれ易しい技から難しい技まで40～50の課題を設定してあるので、受講生はその中から自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。課題の達成度の評価は、受講生同士で行い、その達成度を得点に換算して実技点とする。		
教科書/テキスト			
参考書			
その他	授業の進行状況に応じて、課題となっている技、ならびに体操競技の競技会のビデオ(DVD)を観る。		
関連リンク			

履修コード/科目名称	194601 / 健康・スポーツ実習 (室内球技)		
開講年度	2015年	開講曜日・時限	月・2
担当教員氏名 (カナ)	渡辺 一郎 (ワタナベ イチロウ)		

授業概要	本授業では、バレーボール、バスケットボール、バドミントン、フットサルを教材とし技術、体力、チームワーク等を学習する。		
到達目標 (ねらい)	毎時間ゲームを行い、種目特有の技術、戦術等を理解習得し、スポーツを通じた集団行動や身体運動の楽しさを学習する。		
授業スケジュール	第1回	オリエンテーション	
	第2回	バレーボール、基本技術、試合	
	第3回	バレーボール、基本技術、試合	
	第4回	バレーボール、応用技術、試合	
	第5回	バスケットボール、基本技術、試合	
	第6回	バスケットボール、基本技術、試合	
	第7回	バスケットボール、応用技術、試合	
	第8回	バドミントン、ハイクリアー、ドロップ、ヘアピン、スマッシュ、サーブ、シ	
	第9回	バドミントン、、シングルス試合	
	第10回	バドミントン、、ダブルス試合	
	第11回	フットサル、基本技術、試合	
	第12回	フットサル、基本技術、試合	
	第13回	フットサル、応用技術、試合	
	第14回	学生の希望する種目	
	第15回	まとめ	
準備学習	各種目のルールを事前に学習すること		
履修上の留意点	服装はスポーツ用ウェアを着用し、必ず体育館シューズを準備する。		
成績評価の方法	70%	平常点	
	30%	総合評価	
	授業に出席したうえで積極的に取り組むことが必要である。技術面以上に授業に取り組む姿勢を評価する。		
教科書/テキスト			
参考書			
その他	最低限授業時数の2/3の出席をすること。30以上の遅刻は認めない。		
関連リンク			